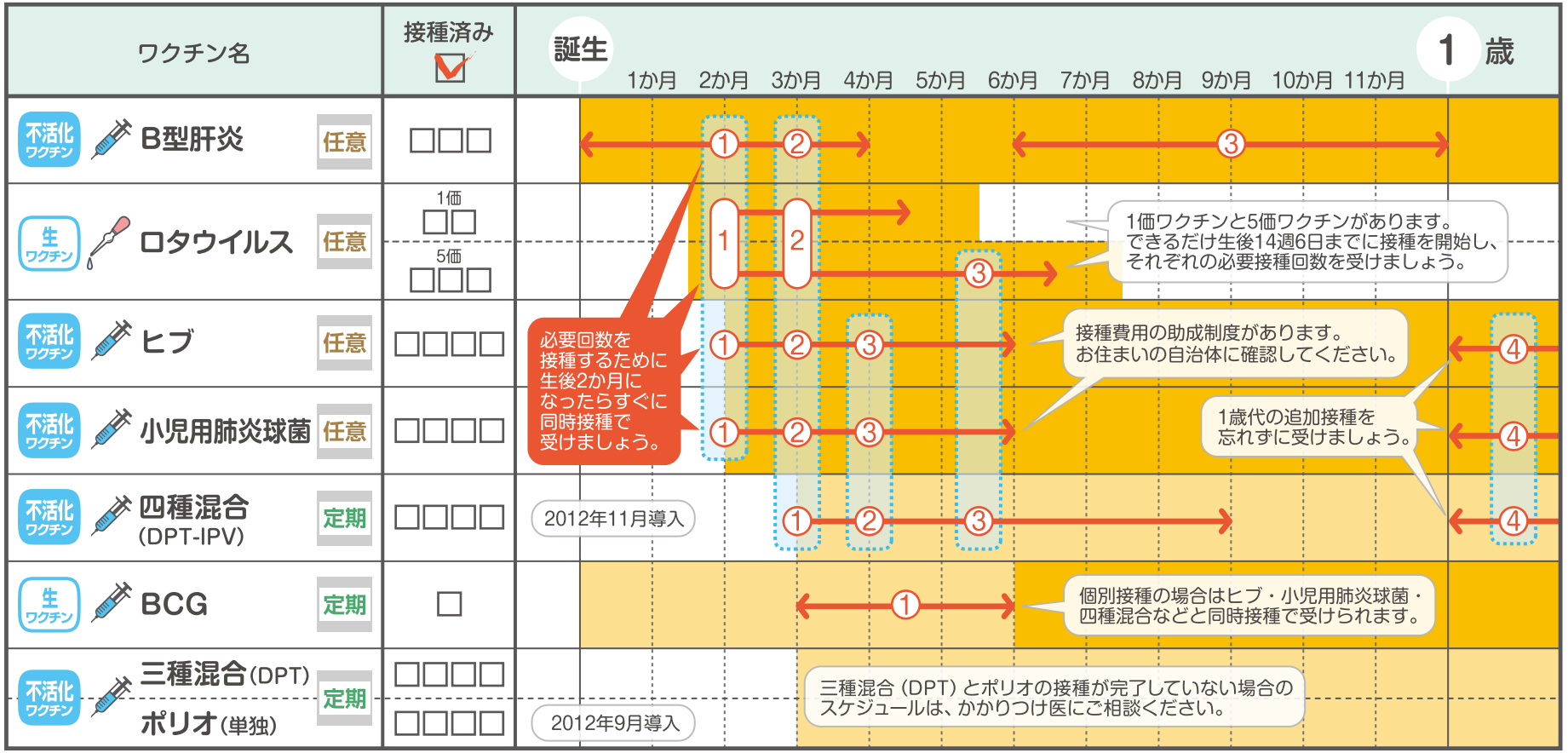
2012年9月版

0歳の予防接種スケジュール

ワクチンデビューは、生後2か月の誕生日

0歳の赤ちゃんをVPD(ワクチンで防げる病気)から守るためには、生後2か月になったらできるだけ早くワクチンを受けることが大切です。ワクチンの種類、接種回数が多いので、かかりつけの医師と相談のうえ同時接種で受けましょう。



不活化ワクチン 不活化ワクチン　注射・スタンプ式

生ワクチン 生ワクチン　経口

同時接種 同時に複数のワクチンを接種することができます。安全性は単独でワクチンを接種した場合と変わりません。
国や日本小児科学会は乳幼児の接種部位として大腿外側部も推奨しています。詳しくはかかりつけ医にご相談ください。

定期 定められた期間内で受ける場合は原則として無料(公費負担)。

任意 多くは有料(自己負担)。ワクチンによっては公費助成があります。
任意接種ワクチンの必要性は定期接種ワクチンと変わりません。

定期予防接種の対象年齢

任意接種の接種できる年齢

おすすめの接種時期(数字は接種回数)

●次にほかの種類のワクチンが接種できるのは、
不活化ワクチン接種後は1週間後の同じ曜日から、
生ワクチン接種後は4週間後の同じ曜日からです。

詳しい情報は http://www.know-vpd.jp/ VPD 検索

ⓒ NPO法人VPDを知って、子どもを守ろうの会